

富山県技術士会 総会と講演会の報告

富山県技術士会では、平成21年6月27日(土)富山地鉄ホテルにおいて、15:00～15:30に平成21年度定時総会を、15:30～18:00に第11回講演会を開催しました。以下に、その報告をさせていただきます。

平成21年度定時総会

平成21年度の定時総会は、森田代表幹事による挨拶の後、次に示す議事に従って、平成20年度の報告と平成21年度の計画、役員等について審議を行いました。その結果、委任状を含めて50名の参加者の賛成を得て、議案書のとおり可決されました。

また、平成21・22年度の役員は、次表に示すとおりで、上原氏と有川氏が退任され、新たに総務担当幹事に中井氏、業務担当幹事に桜井氏、会計監事に穴田氏が選出されました。

なお、その他として、正式名称を「社団法人日本技術士会北陸支部 **提携** 富山県技術士会」として、北陸支部との「相互協力に関する協定」に基づいて、今後とも積極的に活動することが報告されました。

議 事

1. 平成20年度事業報告
2. 平成20年度決算報告
3. 平成21年度事業計画(案)
4. 平成21年度予算(案)
5. 平成21年度役員(案)
6. その他



定時総会の状況

富山県技術士会 平成21・22年度役員名簿

役 職	氏 名	所 属
代表幹事	森田 清三	朝日コンサルタンツ(株)
副代表幹事	小西 勇	(株)中部コンサルタント
副代表幹事 事業担当	境 豊和	北建コンサル(株)
副代表幹事 事業担当	佐渡 正	館下コンサルタンツ(株)
副代表幹事 業務担当	笹倉 正司	(株)東京設計事務所
副代表幹事 総務担当	竹内 勝信	(株)アーキジオ 事務局
総務担当幹事	中井 卓	北陸電力(株)
総務担当幹事	梶川 明美	富山県警察
事業担当幹事	辻野 篤	(株)協 和
事業担当幹事	大塚 哲夫	鈴木工業(株)
業務担当幹事	有澤 良一	(株)アリスワ技術
業務担当幹事	吉岡 茂喜	三協立山アルミ(株)
業務担当幹事	市森 友明	(株)新日本コンサルタント
業務担当幹事	桜井 幹郎	北陸基礎開発(株)
会計監事	穴田 昌	(株)建成コンサルタント
会計監事	高田正一郎	富山大学工学部非常勤講師

第11回講演会

第11回講演会は、定時総会後に同じ会場で開催しました。講師は、富山大学の柏木健司先生と豊橋技術科学大学の梶田正美先生で、次に示す内容でした。

・斜面診断に使えるノンテクトニック構造

—その認識の意義と地盤調査への適用—

富山大学 准教授 柏木 健司

最初の柏木先生の講演は、ノンテクトニック構造についての講演でした。テクトニック構造さえ良く理解していない筆者ですが、柏木先生の講演を聞いて、次のように感じました。

テクトニック構造は、地質図レベルの大きな地質構造であるのに対して、ノンテクトニック構造は、重力や地震、地すべりなどの影響を受けて地表面付近に形成される比較的狭い範囲の構造です。建設工事などで問題となるのは、比較的小さな範囲にある断層や褶曲であり、ノンテクトニック構造が理解できると斜面診断などに非常に役立つようです。しかし、テクトニック構造かノンテクトニック構造かを区別するには、巨視的～微視的なスケールでの調査・解析が必要であり、

かなり勉強が必要です。

柏木先生の講演は、本当は昨年11月に予定されていたのですが、タイのバンコク国際空港の閉鎖によって延期を余儀なくされました。今回は、そのリベンジとして懇切丁寧な講演をして頂きました。ノンテクトニック構造は、地質関係では非常に役立つ理論ですので、機会があればまた教えて頂きたいと思います。



講演中の柏木先生

・ものづくり屋の考えたヒトづくり

豊橋技術科学大学 客員教授 榊田 正美

2番目の榊田先生の講演は、昨年3月に新潟大学を定年された先生が、長年に渡ってものづくり屋として取り組んでこられたヒトづくりに関する話で、次のような内容でした。

日本では、成果主義がかなり浸透していますが、成果だけが重要視されて弊害が生じています。結果を出すには、プロセスが大事であるとの考えです。また、教育とは、魚を与えることではなく、魚の釣り方を教えることであり、疑問に思うことや答えを出すプロセスが大切とも言われました。

面白かったのは、働かない「働きアリ」が、役に立っているという話です。手堅い秀才人間だけでは、変化に対応できないので、多様な人材を育成して適所に配置することが大切だとも述べられました。

そして、20才だろうと80才だろうと学ぶことを止めたら老人であり、学び続けるヒトは若いままであると強調されました。我々技術士も、先生の話の教訓として、講演会などを通じて継続的に勉強を続け、気持ちだけは若々しくあり続けたいと思いました。



講演中の榊田先生

まとめ

講演会が終了した後は、隣接する会場で講師の先生方を囲んで交流会を開催しました。講演会の参加者は、あまり増えていませんが、交流会の参加者は、会を重ねるごとに増えているようです。

これは、交流会に参加することによって、講師の先生方から、講演では聞けなかったことや実際への応用方法などが聞ける上、異分野の会員とも知り合いになれることが大きいと思います。自分の分からないことは、やはりその道の専門家に聞くのが一番です。

富山県技術士会では、毎回様々な分野の講師を招いて講演会を開催しています。技術士として視野を広げると同時に、異分野の専門家との交流の場として、是非、講演会及び交流会にご参加ください。

ちなみに、次回の「第12回講演会」は、10～11月の開催を予定しています。詳細は、次のHPに掲載しますので、参加のほどよろしくお願ひします。

富山県技術士会 ホームページ

<http://petoyama.web.fc2.com/>

(富山 竹内勝信)